

## 正平調

「春色の汽車に乗って海に連れて行ってよ」。詞を見ただけでメロディを口ずさんだ人もいるだろう。少女の切ない恋心を歌った松田聖子さんのヒット曲「赤いスイートピー」

である◆この名曲が六甲山を走る摩耶ケーブルの出発メロディになると聞き、お披露目式に行った。作詞した松本隆さんも訪れ照れくさそうに語った言葉がいい。「これが「春色の汽車」になったら、僕もうれしい」◆仕掛け人は「摩耶山再生の会」の事務局長、慈憲一さんだ。十数年前、閑古鳥が鳴きかけていた摩耶山を「大人の遊び場」に変えたアイデアマンである。昔から松本さんのファンで、山頂の施設で松本さんの詞の「朗読会」を開いたのが奇縁のはじまり◆行動の人である。今は神戸を活動拠点にする松本さんの快諾を得ると、知人の音楽家や造園家、地元住民に声をかけ、赤いスイートピーの栽培も始めた。〈線路の脇のつぼみは〉と歌詞にある通り、20個のプランターを摩耶ケーブル駅のホームに並べる◆実はこの曲が発表された当時、園芸用のスイートピーは白やピンクが主流で赤はなかったという。

花なのだろう◆開花は4月中旬ごろになるといふ。春色のケーブルカーに揺られ、を眺めたい。

2023.3.22

①このコラムを読んで、筆者は「どんな花なのだろう」と思ったのか考え、空欄を埋めましょう

花なのだろう

②春色のケーブルカーに揺られ、あなたなら何を眺めたいですか。空欄を埋めましょう

を眺めたい